

1. 平岡 譲（公明党）

質問開始時刻：2月25日 午前10時00分

質問時間：120分

1. 「花が咲き実を結ぶ」1年について

- (1) 施政方針「花が咲き実を結ぶ」に込められた市長2期目最終年の思いについて
- (2) 第6次総合計画の「まず、子どもの幸せから始める」という基本姿勢に基づき、新規施策に伴う財源の半分をこども・教育施策に充てることに対する市民の反響について
- (3) 市全体として人口減少が続く中、子育て世代の転入が増加し、子育て世帯に選ばれる自治体の一つとなっているとする、その根拠について
- (4) 市立川西病院が閉院となったことに対する、現在の見解について
- (5) 舎羅林山開発により税収増が見込まれ、収支見通しの明るい兆しも見えてきたことから、新規事業と見直す事業をセットで業務できる体制が整ってきたという、その考えについて

2. 社会情勢に関する所感

- (1) 少子化について、経済的支援だけでは少子化を食い止めることはできず人口減少を前提とした社会への転換が求められるとした、その意味について
- (2) 人手不足や円安、物価高騰に対する市の政策及び対応について
- (3) 市長の外国人及び多文化共生に対する考え方について
- (4) SNS普及によるメリット・デメリット及び市の対応について
- (5) 「熟議の社会を」目指した市政運営における多様な対話の機会の具体的取り組みについて

3. 令和8年度に重点的に取り組む事業について

- (1) 令和8年度も「まず、子どもの幸せから始める」
 - ① まず、子どもの幸せから始めることに関して、どのような施策体系となるのかについて
 - ② 本市全ての子どもが幸せで笑顔になるための施策以外で、一番重要なものについて
- (2) 人生100年時代を見据え、地域福祉を支える
 - ① 制度による一律の支援からみんながみんなを支える仕組みへの転換に対する地域における福祉人材の確保並びに現役世代の福祉人材確保について
 - ② 自治会及びコミュニティ活動に対する人的確保策について
- (3) 根付いてきたにぎわいを市内全体に広げる
 - ① にぎわいを創出する若いプレイヤーへの支援について
 - ② 川西能勢口駅前の活性化に向けた基本構想に参画する人材選出について
 - ③ 清和源氏まつりを清和源氏発祥の地である地域イベントと一体的に開催するとする、具体的な内容について
- (4) 北部のまちづくりを進める
 - ① 北部のまちづくりに対する市長の思いについて

4. 主要施策について

- (1) 人が豊かに育つ川西の実現について

- ①こども・若者参加条例に規定する「子ども・若者の意見表明を確保するための環境を整える」ことを実現するための、取り組みの具体と学校生活においてこどもたちの意見が実現するための仕組みについて
 - ②（仮称）市立多田こども園、（仮称）川西久代こども園の整備に向けた進捗状況及び旧市立東谷幼稚園をリノベーションした保育所整備の進捗状況について
 - ③本市が描く新たな清和台地域の市立学校の具体的な在り方について
 - ④令和8年度から始まる、中学校における部活動の社会移行にかかる環境整備について
 - ⑤国の給食費負担軽減交付金を活用した小学校保護者負担の軽減についての記載に対する、本市における小中学校給食費無償化への取り組みについて
 - ⑥令和2年施行のパートナーシップ宣誓制度の宣誓状況と令和8年度からのパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度への拡充に対する意義と目的について
- (2)にぎわいが生まれる川西の実現について
- ①「地域資源を活かした観光交流」において想定する本市の具体的な地域資源と、その地域資源の活かし方について並びに観光交流とは何かについて
 - ②国指定加茂遺跡の一部である旧加茂幼稚園の園庭の改修について
 - ③ローカル10,000プロジェクトを活用した事業支援に係る活用する地域資源と資金について
 - ④川西能勢口駅周辺のペDESTリアンデッキ及び東側エリアの駅まち空間の魅力を高めるための基本構想策定における選出される委員について
 - ⑤有害鳥獣対策に係る近年によるクマ類などの危険鳥獣対策について
- (3)安全安心を備えた川西の実現について
- ①大規模災害で断水した際の生活水確保のための「災害協力井戸登録制度」の創設に関する、募集要件と水質基準について
 - ②市立総合医療センター手術室の増設に関する、手術待ち患者の状況と増設数、費用対効果について
 - ③車両を利用した外出支援等の「訪問支えあい活動」拡大への支援について、支援の必要性和現在取り組まれている地域団体の現状、拡大が予定されている地域団体数とその地域の現状について
- (4)快適な環境で暮らせる川西の実現
- ①一庫低区配水池と伏見台低区配水池の現状と共同利用によるメリットとデメリット並びに建設費の削減効果及び維持管理経費の軽減効果について
 - ②令和7年度からの「ゴミをめぐる意見交換会」の意義と目的について
 - ③公営霊園における合葬墓の整備を支援しなければならない背景と整備目的について
- (5)変革の歩みを止めない川西の実現
- ①コミュニティ活動を支援する一括交付金の活用方法見直しに関する、見直しする内容と方向性、進め方について
 - ②持続可能な自治会運営のためのワークショップの実施以外の取り組みに関する、具体的な事例について
 - ③DXの取り組みを加速させるに当たって、検討チームの立ち上げと目的達成までのスケジ

ユール感について

- ④内部統制評価チェックリストを活用する際、監査するポイントを明確にし、リスクマネジメントするためのフローチャートの必要性について

2. 秋 田 修 一（川西まほろば会）

質問開始時刻：2月25日 午後1時00分

質問時間：120分

1. 「花が咲き、実を結ぶ」1年に

(1)持続可能な財政運営について

高市内閣が責任ある積極財政を提唱しているが、その整合性について

(2)「まず、子どもの幸せから始める」という基本姿勢について

川西市に対して貢献度の高い高齢者から、年寄りに冷たいとの声を多く聞かれることに対してどのように考えるか

(3)子育て世帯に選ばれる自治体の一つ

川西市を選んでいただいた本当の理由について

2. 社会情勢に関する所感

(1)人口減少を前提とした社会への転換

どんな社会なのか、また、課題解決への取り組みについて

(2)相互理解に基づく「熟議の社会」

具体的にどんなイメージなのかについて

3. 令和8年度に重点的に取り組む事業について

(1)令和8年度も「まず、子どもの幸せから始める」

①子どもの意見表明権について、本来権利に伴う義務や責任については、子どもたちとどう取り組んでいくつもりなのかについて

②就学前教育保育に対する考え方について、公の役割と必要性について

③放課後の子どもの居場所について、どのような全体像を描いているのかについて

(2)人生100年時代を見据え、地域福祉を支える

①「笑顔ミライちょきん」の広がりや素晴らしいものの、お世話する人、また様々な団体のカテゴライズや行政窓口との関わりについての考え方について

②持続可能な地域活動の実現のために何をされるのかについて

③自治会とコミュニティの関係についての展望をお聞かせください

(3)根付いてきたにぎわいを市内全域に広げる

①にぎわいを市内全域に広げるとはどのようにして行うのかについて

②地域花火大会の検証と効果が8地域につながる理由についてとできない地域対策についてはどう考えるのか

③花火大会はそもそも鎮魂や悪疫退散の目的で始まった。11月開催の花火大会・隔年開催に込める意味とは

(4) 北部のまちづくりを進める

- ① 公共施設の再配置によるまちづくりについては理解できるが、さらに推し進める活性化のためのビジョンについて。インターチェンジ周辺の活用については。

4. 主要施策

(1) 人が豊かに育つ川西の実現

- ① 子どもの意見表明に対する考え方として、審議会委員への枠組が検討されているが、過去の子ども議会などと比較してどのような思いがあるのかについて
- ② 水泳授業が民間プールに移行したその先のビジョンについて

(2) にぎわいが生まれる川西の実現

- ① 川西能勢口駅周辺の駅まち空間の魅力を高める構想案について

(3) 安全安心を備えた川西の実現

- ① 高齢者の孤独死を機器の整備で防ぐことより、地域の関わりや人のつながりで防ぐことの方が効果的であると思うが考え方について

(4) 快適な環境で暮らせる川西の実現

- ① 公共交通はまちの魅力だけでなく安全や安心にもつながる大動脈であると考えているが、今後の市の姿勢について

(5) 変革の歩みを止めない川西の実現

- ① 市史編纂に向けてとあるが、これまでの状況とこれからの展望について

3. 中井成郷（連合かわにし市民の会）

質問開始時刻：2月25日 午後3時15分

質問時間：120分

1. まず、子どもの幸せから始める ・ 人が豊かに育つ川西の実現に関して

(1) 「理念を、政策の動きに変える」：子どもの声は“反映”まで届いているかについて

- ① こども・若者の意見表明の機会の確保について、対象年齢ごとに、どの場を年間何回、どの規模で設けるのか
- ② 政策への反映ルートの仕組み化について、どの部署・どの会議体が担い、いつまでに制度化するのか
- ③ 意見を受けて変更する施策の反映件数の目標について、数と分野をどのように設定するのか
- ④ 学校間や属性間の偏りの補正について、どのような手法で公平性を確保するのか
- ⑤ 子どもへのフィードバックの仕組みについて、「どう扱われ、何が変わったか」を、いつ、どの媒体で返すのか

(2) 「選択肢を“数”から“質”へ」：居場所・学び・活動は複線化できているか（特に中学生）

- ① 放課後キッズプレイスの拡大における、人員配置・安全管理・活動内容の最低基準について
- ② 留守家庭児童育成クラブとキッズプレイスの役割分担と利用導線の整理について

- ③高学年・中学生の居場所の複線化について、不登校・放課後・体験・学び直しそれぞれの整備・拡充数について
- ④校内サポートルームの対象像と到達目標、評価軸の設定について
- ⑤フリースクール通学支援の対象範囲・支援額・地域差の整理について
- ⑥（仮称）学びのスペース 北部セオリア等の学びの場と学校・家庭・相談窓口の接続、入口一本化の考え方について
- ⑦部活動の社会移行における、子どもの選択肢の増加について、クラブ数・種目数・曜日・場所・定員の見込みについて
- ⑧指導者確保の仕組みと継続性の担保について
- ⑨保護者負担の想定額と、経済的理由で参加できない子を生まないための支援について

(3)「産み育てる不安を、入口で止めない」：保護者の安心は確保できているか

- ①入所保留児の年齢別・地域別の実数見込みと解消工程について
- ②各保育施策が生み出す受入人数の内訳について
- ③放課後施策の拡充による共働き世帯の不安軽減の成果指標について
- ④医療的ケア児受入れの看護師配置と受入人数の見込みについて
- ⑤障がい児相談支援体制の質とスピードの改善目標について
- ⑥こども育成支援拠点の対象像と到達目標、ワンストップ化の設計について
- ⑦給食費・医療費の負担軽減の水準と今後の恒久化の考え方について
- ⑧子育て世帯の定住促進に向けた生活条件の一体整備について

2. 人生100年時代を見据え、地域福祉を支える・人が豊かに育つ川西の実現（横串：就労・女性・障がい・若者・生活困窮）・安全安心を備えた川西の実現に関して

(1)若者の視点（就労・参画の“空白”を埋める）

- ①高校生・大学生世代まで含めた意見表明の場の設計について
- ②学校外の若者や就労困難層への参加機会の到達確保について
- ③進路・就労支援の成果指標と高校卒業後の支援の空白への対応について

(2)働く人の視点（生活と両立の設計）

- ①労働者支援事業の対象とする困りごとの内容について
- ②対象人数、支援内容、就労継続や生活改善につながった割合などの成果指標について
- ③子育て・介護・地域活動と両立できる環境づくりとの連動施策について

(3)女性の視点（負担の偏り是正）

- ①ジェンダー平等を具体化する事業内容と成果指標について
- ②子育て・介護・地域活動の負担の偏りを是正する制度設計について

(4)高齢者の視点（必要な人に届くか）

- ①緊急通報システムの対象把握から導入、フォローまでの運用について
- ②地域包括支援センターの機能強化による相談体制の改善について

(5)障がい者の視点（生活の現実にとす）

- ①障がいのある人の居場所の整備数と接続の仕組みについて
- ②被災者支援システムにおける要配慮者支援の設計について

(6)安心安全・防災（制度を“実動”へ）

- ①災害協力井戸の登録目標数と、平時の周知・点検・訓練の運用について
- ②備蓄倉庫・一時避難場所の収容規模と備蓄内容の設計について
- (7)ギャンブル依存症（若者・保護者・安心安全の横串）
 - ①若年層の実態把握と学校・SNS等での予防啓発の実施について
 - ②家族として相談できる入口整備と、福祉・多重債務・医療との連携について
 - ③生活困窮支援と依存症支援の接続、相談体制整備の工程について
- 3. 根付いてきたにぎわいを市内に広げる・にぎわいが生まれる川西の実現に関して
 - (1)事業者・経営者の視点（地域経済を「線」でつなぐ）
 - ①商工振興・農業振興の重点領域と効果の出し方について
 - ②商工・観光・中心市街地・人材育成を線でつなぐ戦略について
 - ③事業者が力を発揮できる環境づくりの具体内容について
 - ④中小企業振興条例に基づく対話制度の設計について
- 4. 北部のまちづくりを進める・快適な環境で暮らせる川西の実現・人が豊かに育つ川西の実現（北部：学び・子育て支援）に関して
 - (1)北部に住む市民の視点（暮らしの改善に結ぶ）
 - ①北部のまちづくり事業は、最終的に北部の暮らしの何を、どこまで改善する計画として整理されているかについて
 - ②地元要望を踏まえて決定した各施策について、誰のどんな困りごとが、どの程度改善するのかについて
 - ③北部のまちづくり事業について、今年度の到達目標を「実施した」ではなく「暮らしがどう改善したか」について
- 5. 変革の歩みを止めない川西の実現（横断：地域運営・担い手）に関して
 - (1)地域を支える人たちの視点（担い手不足に本当に効くか）
 - ①一括交付金見直しにおける裁量拡大と透明性確保について
 - ②ワークショップや補助拡充による役員負担軽減の指標について

4. 田中麻未（日本維新の会川西市議団）

質問開始時刻：2月26日 午前10時00分

質問時間：120分

- 1. 令和8年度予算における市政運営全体・基本姿勢について
 - (1)具体的な成果、指標について
 - (2)新規施策の優先順位について
- 2. 社会情勢認識と市政への反映について
 - (1)少子化・人口減少を前提とした社会への転換について
 - (2)物価高騰・人手不足への対応について
 - (3)生成AI・SNS時代における行政の情報発信とリスク管理について
- 3. 「まず、子どもの幸せから始める」施策について

- (1)「こども・若者参加条例」制定後の成果と今後の展望について
- (2)保護者が安心して子育てできる環境づくりについて
- 4. 人生100年時代を見据えた地域福祉のあり方について
 - (1)行政が果たす役割について
- 5. にぎわい創出と地域経済の循環について
 - (1)にぎわいを広げるための戦略について
 - (2)「LOCAL BUSINESS HUB」について
 - (3)中小企業振興条例制定による影響について
 - (4)地域花火大会について
- 6. 北部地域のまちづくりの方向性について
 - (1)北部4エリアの整備がもたらす役割と影響について
 - (2)福祉複合施設整備について
- 7. 主要施策について
 - (1)人が豊かに育つ川西の実現について
 - ①学校給食について
 - ②パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について
 - (2)にぎわいが生まれる川西の実現
 - ①旧加茂幼稚園園庭の改修について
 - (3)安全安心を備えたまちづくりについて
 - ①災害協力井戸登録制度について
 - ②緊急通報システムの見直しについて
 - ③総合医療センターの手術室増設について
 - (4)快適な環境で暮らせる川西の実現について
 - ①大規模住宅団地の再生について
 - ②旧緑保育所跡地の活用について
 - ③安全安心なごみ収集について
 - (5)変革の歩みを止めない川西の実現について
 - ①関西学院大学大学院司法研究科への聴講派遣について
 - ②「行かない・書かない」市役所について

5. 黒田美智（日本共産党議員団）

質問開始時刻：2月26日 午後1時00分

質問時間：120分

- 1. 社会情勢に関する所感について
 - (1)日本国憲法遵守の立場について
 - (2)公衆衛生の向上、住民福祉の増進を進める考え方について
 - (3)誰ひとり取り残さない市政運営を堅持する考え方について

(4) 自衛隊基地を持つ自治体としての取り組みについて

- ① 国土強靱化計画の内容・スケジュールについて及び市民への影響について
- ② 地位協定における影響と自衛隊行事のあり方や市民への情報発信について
- ③ 「非核平和都市宣言」のまちとして国への意見表明を行うことについて

(5) 憲法遵守の立場を全うできる職員研修について

- ① 公務員教育のあり方や内容について
- ② 公務員としての質の向上にむけた取り組みについて

(6) 公契約条例を制定することについて

- ① 市発注事業の下請け企業や労働者を守る取り組みの現状について
- ② 公契約条例を制定することについて

2. 「まず、子どもの幸せから始める」について

(1) 保育所待機児童・保留児童への取り組み及び保育士確保について

- ① 待機・保留児童への市立・私立園所への取り組み及び支援について
- ② 公的責任・保育拡充にむけた取り組みについて

(2) 市立川西南保育所の存続について

- ① 保育所の存続について

(3) 市立就学前教育保育施設がない校区に公立園所設置を行うこと

- ① 地域の子育て拠点として公立園所を確保すること
- ② 民間園での医療的ケア児受入れのための看護師配置支援を行うこと

(4) 留守家庭児童育成クラブを拡充することについて

- ① 待機・保留児童への対策及び職員確保について
- ② 公的責任の所在について
- ③ 給食センターからランチ提供することについて

(5) 生徒中心の中学校部活動社会移行と居場所作りについて

- ① 社会移行への見通しと手立てについて
- ② 放課後、生徒の居場所確保について
- ③ 社会移行を進める核になる場所について

(6) 国際交流・異文化を理解するための取り組みについて

- ① 就学前教育保育施設や学校での外国籍児童生徒受入れ人数等について
- ② 就学前教育保育施設や学校での具体的な取り組みについて（例えば食事の工夫など）

3. 「人生100年時代を見据え、地域福祉を支える」について

(1) 民生委員などの確保ができない要因についての市の考え方について

- ① 市内民生委員の不補充の実態について及びその要因について
- ② 地域活動を支えるための具体的な市の取り組みの考え方や内容について

(2) それぞれの地域公共交通を確立するための支援について

- ① それぞれの地域の特性や実態に応じた地域公共交通が進まない要因についての考え方について
- ② 市として問題解決のための具体的な取り組みや財源確保の考え方について
- ③ 公共交通を持続可能なものにするための市としての具体的な手立てについて

(3) 医療と介護を保障するための手立てについて

- ① 市立総合医療センターにおいて職員が十分確保されているかについて
- ② マイナ保険証の課題(顔認証やパスワード確認、投薬と記載のタイムラグなど)は全て解決されているかについて
- ③ 資格確認書で通常通り医療受診ができることを市民に徹底することについて
- ④ 経済的理由に関係なく、必要な方に必要な医療や介護が提供できるよう支援する取り組みや相談できる場所について
- ⑤ ギャンブル依存症だけでなく、他の依存症への取り組みを行うことについて

4. 「快適な環境で暮らせる川西の実現」について

- (1) 持ち家に関する市民への啓発活動に取り組むことについて
- (2) 低廉な公営住宅(借り上げを含む)を確保する考え方について

5. 市内事業者の育成と在り方について

- (1) 市内事業者の相談窓口や情報を周知する取り組みについて
- (2) 市の責任や市民サービスが低下しない手立てについて

6. 斯波康晴(市民ファーストかわにし)

質問開始時刻：2月26日 午後3時15分

質問時間：120分

1. 「花が咲き、実を結ぶ」1年に、について

- (1) 市長が語る「成果」の政治的総括とその根拠について
 - ① 「蒔いてきた種」の考え方、“政治的成果”と認識する主な政策成果について
 - ② 「改革が加速した」と判断する根拠と市長自身が評価する転換点について
 - ③ 市政運営における市長のリーダーシップの特徴と今後の意思決定の判断基準について
- (2) こども施策への予算重点化の政治判断とその成果の検証について
 - ① 新規施策の財源の半分をこども・教育に充てると決断した政治判断の背景について
 - ② 「こどもが笑顔になる未来を確信した」との認識の根拠とどのように“確信”に至ったのか
 - ③ 校内サポートルームなど先駆的施策の成果と課題認識について
 - ④ 重点的財源配分の継続性と今後の優先順位について
- (3) 「子育て世帯に選ばれる自治体」との認識の妥当性と市長の判断について
 - ① 30代転入増を市長がどう評価し、どの要因を主要因と認識しているのか
 - ② 中央北地区開発完了によるマンション供給の影響をどう位置づけているのか
 - ③ 一方で、大型開発住宅団地の子どもの数が減少傾向にある現状をどう評価するのか
 - ④ 市全体の施策効果として「選ばれる自治体」と言えるのかについて
 - ⑤ 今後の人口政策、「選ばれる自治体」となる居住政策等の方向性について
- (4) 地域医療政策の成果評価と今後の方向性
 - ① 総合医療センターの成果を踏まえつつ、次の課題をどう認識しているのか

②リハビリテーション病院開設に対する市長の政治判断と今後の地域医療提供体制の展望

③医療・福祉分野における「投資と選択」の考え方について

(5) 財政運営の見通しと“議論できる体制”の意味について

①財政健全化を最優先としたこれまでと今後の財政運営の基本姿勢の変化について

②税収増（大型物流センター等）の効果見通しと今後どの分野に重点投資する政治判断を行うのか

③「新規事業と見直す事業をセットで議論できる体制が整ってきた」の具体について

④将来の財政リスクに対する市長の判断基準について

(6) 市長が描く「花が咲き、実を結ぶ」市政の将来像について

①市長が考える「実を結ぶ」とはどの状態を指すのか

②令和8年度を「転換点」と位置づける政治的意図について

③今後最も重視する政策領域とその理由について

④市民に示すべき「市政の成果」と「次の課題」の整理に対する市長の見解について

2. 社会情勢に関する所感、について

(1) 人口減少を前提とした市政運営という市長判断の妥当性

①市長が「もはや経済的支援だけでは少子化は止められない」と判断する根拠について

②「人口減少を前提とした社会への転換」を市政の前提とする政治判断の背景について

③この前提のもと、川西市は都市間競争を行わないという方向性なのかについて

④ベッドタウン都市としての川西市の特性をどう評価しているのか

⑤社会増を積極的にめざすべきという考え方に対する市長の見解について

⑥人口減少を前提とすることで市民サービスの見直しが拙速に進む懸念への市長の認識について

(2) SNS活用による「市民とのタイムリーなコミュニケーション」の実態と成果

①「SNSの普及によりタイムリーなコミュニケーションが可能になった」との認識の具体

②SNSを通じて市民の声をどのように把握しているのか

③SNSで得た意見が市政施策にどのように反映されたのか

④SNS上の誤情報への対応と、市長が考える「事実を丁寧に伝える」行政のあり方について

⑤SNS活用の限界と、補完すべき対話手法に対する市長の考えについて

(3) 「熟議の社会」を掲げる市長の姿勢と、市民からの“対話不足”の指摘

①市長が「他者を尊重する風土が失われつつある」と述べた背景について

②「熟議の社会」を市政運営でどう実現するのか

③市長自身がこの発言に込めた自省の有無について

④市民から寄せられる「対話不足」の声をどう受け止めているのかについて

⑤対話の機会を「持ち続ける」との方針の具体化について

⑥今後、対話の質を高めるための認識について

(4) 社会情勢の変化に対する市長の政策判断と優先順位について

①インフレ・円安・人手不足などの構造的課題に対する市政、市民生活への影響について

②市長が考える「自治体として取り得る対応」とは何かについて

- ③科学技術・生成AIの進展を市政運営にどう位置づけるのかについて
- ④行政のデジタル化・効率化と、市民サービス維持のバランスに対する判断について
- ⑤社会情勢の変化の中で、市長が最も優先すべきと考える政策領域について

(5) 市長が描く「これからの社会」と川西市の将来像について

- ①市長が考える「これからの社会」の中での川西市の位置づけについて
- ②人口減少社会における「持続可能な自治体像」の定義について
- ③市長が本年度に期待する市政成果の先に最も重視する政策展開について
- ④市民に示すべき「市政の成果」と「次の課題」の整理について

3. 令和8年度に重点的に取り組む事業について

(1) 令和8年度も「まず、子どもの幸せから始める」

- ①「こどもの幸せ」を起点とする市政運営の成果と課題認識について
- ②こども・若者参加条例の実効性と市政への反映について
- ③「保護者が安心して子育てできる環境」の定義と、市長の課題認識
- ④入所保留児の解消に向けた施策の優先順位と見通し
- ⑤留守家庭児童育成クラブの逼迫状況への市長の判断
- ⑥市長が描く「こどもの幸せ」政策の将来像

(2) 人生100年時代を見据え、地域福祉を支える、について

- ①「制度による一律支援」から「地域福祉」への転換に関する市長の政治判断
- ②地域福祉活動の現状評価と、市長の課題認識について
- ③「笑顔ミライちょきん」の成果と今後の方向性について
- ④自治会・コミュニティ協議会の担い手不足への市長の認識について
- ⑤地域づくり支援補助金の拡充の狙いと効果について
- ⑥参画と協働のまちづくり推進会議の答申をどう活かすのかについて
- ⑦市長が描く「持続可能な地域福祉」の将来像について

(3) 根付いてきたにぎわいを市内全域に広げる、について

- ①駅前のにぎわい創出の成果と評価基準について
- ②LOCAL BUSINESS HUBの成果と市政への反映について
- ③第4期中心市街地活性化基本計画の位置づけと市長の政治判断について
- ④中小企業振興条例の実効性と、商工会との連携の意義について
- ⑤地域花火大会の拡充の目的と持続可能性について
- ⑥清和源氏まつり・猪名川花火大会の今後の方向性について
- ⑦“にぎわいを市内全域に広げる”ための市長の展望する戦略について

(4) 北部のまちづくりを進める、について

- ①北部まちづくり構想の全体像と市長の政治判断について
- ②北部地域全体の“生活圏としての一体性”をどうつくるのかについて
- ③民間活力の導入と公共性のバランスに関する市長の考え方について

4. 主要施策のうち、「変革の歩みを止めない川西の実現」の目標について

- ①“限られた経営資源”の中で何を優先するのかについて
- ②コミュニティ組織・自治会支援の方向性と課題認識について

- ③地域づくり支援補助金の拡充の狙いと実効性について
- ④公募型補助金の導入効果と市長の評価について
- ⑤清和台地域の小学校跡地活用の方向性について
- ⑥職員育成の強化と市長の考えについて
- ⑦D X推進の優先順位と判断基準について
- ⑧個別D X施策の効果と課題について
- ⑨市の魅力発信の方向性と評価基準について
- ⑩内部統制の強化と市長の姿勢について